

2019年8月18日(日) メッセージアウトライン「十字架の血によってもたらされた平和」

聖書箇所：コロサイ1：13～23

タイトル：「十字架の血によってもたらされた平和」

テーマ：8月15日は終戦記念日でした。この時期、歴史を振り返りつつ、「平和」とは何かと考えることの大切さを覚えます。私たちがふだん口にする「平和」は、どういう意味合いで語られているのでしょうか。そして、神が私たちに与えようとしておられる「平和」(ヘブル語でシャローム、ギリシャ語でエイレーネ)はどのようなものなのか、本日はコロサイ人への手紙1章をとおして見てまいりましょう。

1. 「シャローム」というヘブル語の持つ意味

- ①ギリシャ語でエイレーネと表現される
- ②平和、安息、安心、泰平、健やか、和解、和平、無事、解放、繁栄、癒し、好意、幸福、勝利、満足、成熟、意欲、悟り、完成、成就、親しい、償う、救う、捧げる、払う、報復、報い、善、正義、公義、そして挨拶、など実に幅広い意味で使われている。
- ③イエス・キリストの願われる「シャローム」(平和)
- ④一般的に使われる「平和」は何を意味しているか？

2. アダム以来、失ってしまった本質的シャロームをいかに取り戻すことができるのか？

- ①イエス・キリストの十字架によってもたらされた大転換
 - *神の敵であった私たちにもたらされたもの(コロサイ1：20～22)
 - ・罪の赦し
 - ・神の怒りからの守り
 - ・神と人間、人間同士の前に立ちはだかる壁の打破…「地にあるものも天にあるものも、御子によって和解させることを良しとしてくださったからです。」
(ベテル聖研でも学んだ(1)神との関係の回復、(2)自己との関係の回復、(3)隣人との関係の回復、(4)与えられた自然やすべてのものとの関係の回復)

3. キリストの方法によるシャローム

- ①敵を愛する愛
- ②徹底的非暴力による勝利
 - *誰の命をも犠牲にせず、神の自己犠牲によって
- ③私たちは平和と愛を標榜しつつ、隣人を踏みにじってはいないか

5. 結論

- ◎真のシャローム(平和)をめざして